

## 日本歯周病学会 第63回 歯科衛生士教育講演会 報告

1. 研修会名：日本歯周病学会第63回歯科衛生士教育講演会（日本歯科衛生士会第3次生涯研修）
2. 主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会（歯科衛生士関連委員会）
3. 協力：公益社団法人 京都府歯科衛生士会
4. 日時：平成28年 3月 6日（日）13:00～16:30（受付12:45～）
5. 場所：ホテル本能寺 5階 醍醐ホール  
京都市中京区寺町通り御池下ル下本能寺前町522番地 TEL:075-231-3123
6. 演題：① 知っておこう！歯周病患者における抗菌療法  
② 高めよう！プロービング力
7. 講師：五味 一博（日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 副委員長）  
茂木 美保（日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員）
8. 研修単位：①②の両方に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能  
①日本歯周病学会会員の場合
  - ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（参加者8単位）
  - ・更新時の生涯研修単位（10単位）②日本歯科衛生士会会員、会員外の場合
  - ・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基本技術）  
Ⅱ-A 「歯周組織検査」（1単位）、Ⅵ-A 「歯周基本治療について」（2単位）

### 9. 内容：

受講人数は、139名であり、そのうち日本歯周病学会会員の出席は、大阪(19名)、京都(10名)、兵庫(12名)、滋賀(6名)、東京(4名)、奈良・香川・徳島(3名)、広島(2名)、三重・愛知・神奈川・群馬・埼玉（1名）の計67名であった。なお、京都府の日本歯周病学会認定歯科衛生士数は、平成27年11月11日現在972名中18名である。

はじめに京都府歯科衛生士会白波瀬会長の挨拶があり、茂木委員より日本歯科衛生士会第3次生涯研修制度と4月からスタートする第4次生涯研修制度、そして日本歯周病学会の認定制度につき、説明があり、歯周治療の流れにおいて歯科衛生士の役割が大きいこと、臨床で関わっていなくても、その知識や技術を持っていることが、在宅など多職種と連携していく上で専門性を発揮できる強みとなることを強調し、五味副委員長の講演へと繋げた。

最初に「知っておこう！歯周治療患者における抗菌療法」と題して、前半は、歯周病検査、歯周組織の形態などの基本を、後半は歯周病原細菌、歯周薬物療法について、動画を多く用いて、興味深く、わかりやすく、五味副委員長の講演が行われた。

休憩をはさみ次に、茂木委員より「高めよう！プロービング力」と題して、歯肉炎と歯周炎の鑑別診断に必要なプロービングに対する解説と執筆法変法について演習が行われた。その後、質疑応答を行い、閉会となった。

なお、アンケート回答者は124名であり、日本歯周病学会認定歯科衛生士は53名、今後習得する予定がある方は、25名だった。



五味一博 副委員長



茂木美保 委員



会場の様子（開会）



会場の様子（質疑応答）



京都府歯科衛生士会執行部の皆様と演者